

1. 研究主題

確かに伝え、ともに学ぶ子どもを育む

～国語科の学習を中心として～

「確かに伝える」とは、自分の思いや考えをしっかり持ち、それを自分の言葉で他に伝えること。

「ともに学ぶ」とは、他と交流をすることで自分の考えをより確かなものにする事。

また、一人一人が自分の力を発揮することで互いに高め合っていくこと。

2. 主題設定の理由

(1) 研究の経緯と児童の実態から

平成16年度から3年間、「豊かにかかわる子どもを育む」を主題に掲げ、児童が豊かにかかわることができるための指導・支援の在り方を探ってきた。その結果、様々な活動の場で進んでかかわろうとする意欲的な態度やその方法を身につけてきた。また、友達と一緒に活動する楽しさやよさを体感し、いきいきとしたかかわり合いの姿が見られるようになった。

しかし、その一方で、自分の思いをなかなか口にできなかつたり、どんな言葉で表したらよいか悩んだりする子どもたちの姿も見られた。言語能力の不十分さや表現力・読解力の個人差が課題としてあげられた。自分の思いや考えを自分の言葉で伝えるために、語彙量を増やしたり、様々な表現の仕方を知ったりするなど、伝えるための技能を身につける必要があると考える。

(2) 学校教育目標から

「人と豊かにかかわり、ともに未来を拓く子どもを育成する」ことを学校教育目標に掲げ、学校像「子ども一人一人が、いきいきと自律的に取り組むことができる学校」を設定して教育活動を進めている。課題を明確にして、確かに伝えるために必要な力を身につけ、共に学ぶための態度や技能を育てていくことで、教育目標の具現化に迫ることができると思う。

(3) 社会的背景から

現行の学習指導要領は、自ら学び自ら考える力の育成と基礎・基本の確実な定着、豊かな人間性、健康と体力など知徳体の調和のとれた「生きる力」を育成することを基本的なねらいとしている。また、第5次山形県教育振興計画の「いのち・学び・かかわり」の推進、第2次米沢市文化教育計画の「個性の尊重と確かな学力の定着」「豊かな心を育む学習活動」など、かかわることの大切さや学力の充実などがあげられている。自ら考えたり人とかかわったりする際に中核となるのは言葉である。自分の思いや考えを言葉にしてまとめ、他に伝える技能を身につけることは、単なる教科の学習にとどまらず、「かかわる力」「生きる力」を育むことにつながると思う。

以上の観点から、本研究主題を設定した。

3. めざす子どもの姿

研究全体としてめざす子どもの姿

確かに伝え、ともに学ぶ子ども

各学年部でめざす子どもの姿

低学年部：

中学年部：

高学年部：

子どもの実態から、各学年部で「めざす子どもの姿」を設定する。

4. 研究の仮説と重点

< 研究仮説 >

伝えるために必要な技能を習得すれば、自分の思いを確かに伝え、
ともに学ぶ子どもになるだろう。

< 研究の重点 >

語彙力と表現力を高めるための指導の工夫

重点について

伝えるために必要な技能として、語彙力を高めることと伝え方を身につけなければならない。まずは、そのための基礎となる部分をかためていきたい。

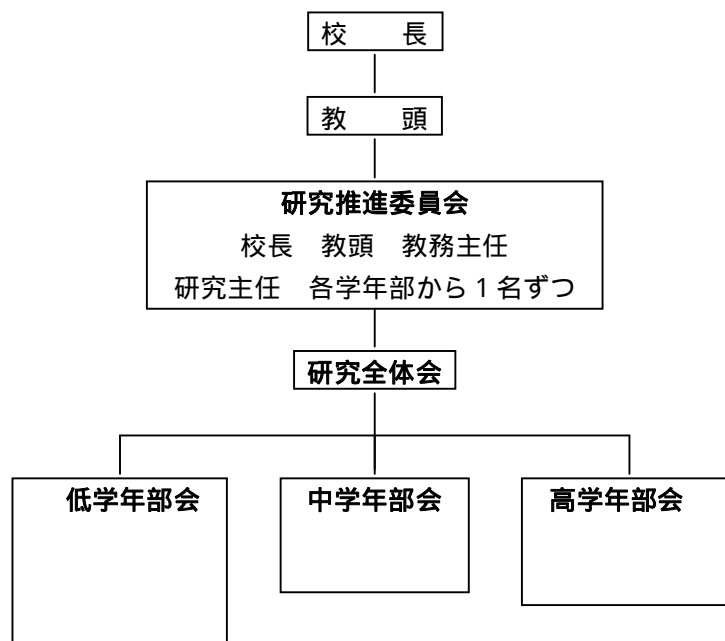
- ・語彙量を増やすため、音読や読書活動を推進する。
- ・音声言語能力の向上を図るために、「話すこと・聞くこと」の学年系統表に基づいた内容を、日常的に指導していく。
- ・一人一人が自分の思いや考えを持つことができるように、学習プリントや学習形態・場を工夫して取り組む。
- ・「伝えたい」「聞きたい」という意欲が持てるような学習や活動の場を設定する。

5. 研究の内容と方法

- ・日常の授業実践を通して仮説の検証を行う。研究教科を国語科とし、伝えるために必要な力を国語の学習を通して身に付けていく。
- ・「話すこと・聞くこと」の学年系統表を整理し、具体的に子どもたちに提示しながら学習を進めていく。
- ・実態調査及び分析により実態を把握し、成果と課題をとらえていく。
- ・学年部会を中心として、研究を進めていく。
- ・授業研究会は、年2回の大研を行い、その他の学級は小研を行う。1人1授業以上を公開し、仮説の検証を行う。

6. 研究の組織と計画

(1) 研究の組織



研究推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の全体計画を作成し、推進する。 ・実態調査と分析を行い研究に生かす。 ・研究の成果と課題を確認し、研究の方向づけを行う。 ・研究紀要を作成する。
学年部会	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を明らかにし、日常の授業を通して仮説の検証を行う

(2) 研究の計画

月	日	曜日	研究会	研究内容
4	1 2	木	研究推進委員会	今年度の研究構想（主題・仮説・内容など）検討
	1 3	金		
	1 7	火	研究全体会	今年度の研究構想についての説明と提案
	1 8	水	学年部会	具体的なこども像の設定 仮説を検証するための具体的な方策を考える
5	1 0	木	学年部会	日常活動の取り組みについて
6	1 4	木	学年部会	日常活動の取り組みについて
	2 2	金	提案授業	5年2組
7	1 7	火	研究推進委員会	1学期の取り組みの反省
	2 5	水	全体会	
8	2 7	月	第1回事前研究会	1年 2年
9	1 1	火	第1回校内授業研究会	1年 2年
11	2	金	学年部会	日常の取り組みについて
	6	火	第2回事前研究会	3年 4年 6年

	1 3	火	第 3 回事前研究会	
	2 2	木	第 2 回校内授業研究会	3 年 4 年 6 年
	2 7	火	第 3 回校内授業研究会	
1 2	4	火	研究推進委員会	
	2 0	木	学年部会	2 学期の取り組みの反省と 3 学期の取り組みについて
	2 1	金	全体会	
1	1 7	木	学年部会	今年度の取り組みについての成果と課題
	2 9	火	学年部会	今年度の取り組みについての成果と課題
2	5	火	研究推進委員会	今年度の取り組みについての成果と課題 次年度の方向性について
	2 6	火	全体会	今年度の取り組みについての成果と課題 次年度の方向性について